

病虫害発生予察情報

6月月報

平成17年7月13日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2005年 6月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	25.1	0.1	16.4	-0.1	20.4	-0.1	32	100	27.9	73
中旬	26.0	0.9	19.0	1.3	22.1	1.0	24	43	22.5	87
下旬	30.1	5.1	21.9	3.4	25.7	4.2	52	71	25.3	159
平均	27.1	2.1	19.1	1.5	22.7	1.6				
合計							108	67	75.7	93

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年並であったが、中旬はやや高く、下旬はかなり高かった。

降 水 量：上旬は平年並であったが、中・下旬はやや少なかった。

日照時間：上・中旬はやや少なかったが、下旬はかなり多かった。

<天候概況>

上旬：2日～4日にかけて停滞前線の影響で雨となった。台風4号の影響で梅雨前線が押し上げられたため、東京は10日頃に梅雨入りしたとみられる。これは平年より2日、昨年より4日遅かった。

中旬：この時期は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。気温は、期間の中頃は平年より低かったが、その他は平年並みか平年より高かった。

下旬：期間の中頃は梅雨前線が本州より離れて停滞したため、晴れの日が多くなった。期間の初めと終わりは梅雨前線の影響で曇りや雨となった。気温はかなり高い日が多かった。

2 作物生育概況

(1)イネ

5月の低温のため苗の生育は若干遅れ気味であったが、6月中旬までに殆どの水田で定植が完了した。これらは月末までに活着し、順調な生育をしている。なお、本年はウキクサの発生が多く、日射量が多いことが要因として考えられる。

(2)サツマイモ

6月前半までに殆どの圃場で定植が完了した。一部に5月定植の補植を行ったところが見られる。その後の生育は順調で、ほぼ例年通りの生育であった。

(3)野 菜 類

キュウリ：5月の低温・乾燥の影響で主枝が弱い圃場が多く、曲がり果の発生が極めて多い。

トマト：開花期に低温に遭遇した影響で、窓あき・チャック果の発生が多い。ハウスものでは収穫期が遅れ気味となり、6月後半には露地物との競合を生じた。

スイートコーン：乾燥気味のためか、早生種を中心に草勢が弱く、鞘の太りもやや小ぶりです。

ある。

ジャガイモ：寒暖の差が大きかったためか、全体的に肥大はよい。二次伸長芋の発生は比較的少ない。

(4) 果 樹

場内灰色低地土圃場におけるブドウ‘高尾’の満開日は6/2で、平年より3日遅かった。カキの生理落果は平年より少なかった。

(5) 茶 樹

平年より二番茶の摘採期はやや遅れてぎみであったが、生育は順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< 少 >	ほとんど見られなかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハマキムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

カ キ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 一部やや多 >	一部でやや多発し、検定の結果CMVが検出された。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 並～やや多 >	発生は平年並～やや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
モザイク病	< やや多 >	発生はやや多く、一部ではCMVとZYMVによる急性萎凋症も認められた。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラハバチ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 多 >	発生は多かった。
キャベツ		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
株腐病	< >	立川市の一部で発生が見られた。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (5)花きの病害虫		
キク		
キクスイカミキリ	< 並 >	発生は平年並であった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
 (6)植木の病害虫		
街路樹など		
うどんこ病	< 並 >	サルスベリ、トウカエデおよびハナミズキなどでの発生は平年並であった。
ケヤキのヒゲマダラアブラムシ	< 多 >	月の前半は多かったが後半に向かって減少した。
 (7)鳥しよの病害虫		
特記事項なし		

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月6日	7月7日	0	0
大田市場	6月6日	7月7日	0	0
板橋市場	6月6日	7月7日	0	0
淀橋市場	6月6日	7月7日	0	0
青梅青果市場	6月2日	7月7日	0	0
福生青果市場	6月2日	7月7日	0	0
八王子北野市場	6月2日	7月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月2日	7月7日	0	0
三鷹市場	6月3日	7月6日	0	0
東久留米市場	6月3日	7月6日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。